

第8回 奈良まほろばソムリエ検定試験

問題用紙

奈良まほろばソムリエ

(午後2時開始 制限時間90分)

注意事項

1. マークシートへの記入にあたっては、硬度 HB または、B の黒鉛筆を使用してください。(ボールペンは使用不可)
2. 誤ってマークしたときは、跡の残らないようにプラスチック消しゴムで消してください。
3. マークシートの解答欄は、各問題につき1つのみ解答してください。
4. マークシートは直接コンピュータで読み取りますので、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。
5. 記述式問題の解答用紙への記入にあたっては、解答用紙の表面に記載されている注意事項をよく読んでください。
6. 記述式問題の解答用紙にも受験番号・氏名の記入欄がありますので必ず記入してください。
7. 点数は100点をもって満点とし、問Ⅰが50点(25問で各2点)、問Ⅱが30点(2問で各15点)、問Ⅲが20点(1問で20点)の配点となります。

(平成26年1月12日)

奈良商工会議所

I. 次の問題について、最も適当なものを選びなさい。

- (1) 奈良県の気候を地形によって三区分する場合、当てはまらない地域はどれか。
ア. 奈良盆地 イ. 大和高原 ウ. 金剛山地 エ. 紀伊山地
- (2) 天理市の内山永久寺跡から移された、珍しい馬魚（ワタカ）が棲む奈良市内の池はどれか。
ア. 東大寺鏡池 イ. 佐紀池 ウ. 猿沢池 エ. 荒池
- (3) 藤原京や平城京遷都、大仏再建等で樹木が大量に伐採され、現在もその名残りがみられる山はどれか。
ア. 田上山（滋賀県大津市） イ. 高塚山（三重県名張市）
ウ. 六甲山（兵庫県神戸市） エ. 国城山（和歌山県橋本市）
- (4) 現存する世界最古の印刷物といわれる百万塔陀羅尼を作らせたのは誰か。
ア. 聖武天皇 イ. 称徳天皇 ウ. 聖徳太子 エ. 持統天皇
- (5) 永禄10年（1567）の三好・松永の戦乱で被災した東大寺大仏の頭部修復を手がけ、文人としても知られる戦国時代の武将は誰か。
ア. 十市遠忠 イ. 島清興 ウ. 山田道安 エ. 越智家栄
- (6) 昭和25年(1950)に京都のプルニエ会館で奈良県と大規模な用水路建設の同意協定を締結した府県はどこか。
ア. 和歌山県 イ. 大阪府 ウ. 三重県 エ. 京都府
- (7) 橿原市にあり、古墳時代後期の大規模な玉造り工房の跡が発見された遺跡はどれか。
ア. 曾我遺跡 イ. 大福遺跡 ウ. 石見遺跡 エ. 芝遺跡
- (8) 奈良ホテルの東方にあり、瑜伽神社が南側に鎮座する中世城郭遺跡はどれか。
ア. 鬼蘭山城 イ. 七郷山城 ウ. 桐山城 エ. 西方院山城
- (9) 長谷寺についての記述のうち、正しいのはどれか。
ア. 初瀬川(大和川)の左岸に位置する。
イ. 舞台造りの本堂は国宝に指定されている。
ウ. 西国三十三所観音霊場の第九番札所である。
エ. 3匹の鬼が登場する「だだ押し」が2月3日に開催される。
- (10) 室生寺境内にある次の堂塔のうち、最も高いところに位置するのはどれか。
ア. 弥勒堂 イ. 金堂 ウ. 五重塔 エ. 御影堂
- (11) 次の八幡宮・八幡神社のうち、国宝に指定された3体の神像にゆかりがあるのはどれか。
ア. 休ヶ岡八幡宮 イ. 手向山八幡宮 ウ. 高山八幡宮 エ. 薬園八幡神社

- (23) 広陵町の櫛玉比女命神社で行われ、勇壮な地車の宮入りでよく知られる行事はどれか。
ア. 朝拝式 イ. おんばら祭 ウ. 戸開式 エ. 戸閉て祭
- (24) 文化財に関する法令のうち、発布された年が最も新しいものはどれか。
ア. 古社寺保存法
イ. 古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法
ウ. 文化財保護法
エ. 明日香村特別措置法
- (25) 平成25年（2013）に天誅組150年記念行事が行われた東吉野村の「湯ノ谷墓地」に埋葬されている天誅組の志士は誰か。
ア. 伴林光平 イ. 水郡善之祐 ウ. 中山忠光 エ. 藤本鉄石

Ⅱ. 次の中からテーマを2つ選び、それぞれについての解説文を別紙の解答欄に200字以内で書きなさい。尚、選択したテーマの番号を解答欄左上の所定欄に記入すること。

(各15点)

- (1) 平城京の設計について
- (2) 江戸時代、元禄・宝永期の東大寺の復興について
- (3) キトラ古墳の壁画について
- (4) 題目立について
- (5) 中将姫伝説と當麻について

Ⅲ. 次の中から1つ選び、その場所を含む1日の見学コースを想定したのち、同伴者を楽しませ、奈良の文化遺産や自然遺産に興味をもたせるには、どのように案内すればよいかを考え、自分なりの見学計画を400字以内で書きなさい。

尚、選択した番号を解答欄左上の所定欄に記入すること。また、行程ならびに本文の記述にあたっては、下記の条件を参照すること。

(20点)

- (1) 三条通り (奈良市)
- (2) 葛下川 (玉寺町・上牧町・香芝市)
- (3) 竹内街道 (葛城市)
- (4) 甘櫨丘 (明日香村)
- (5) 賀名生皇居跡 (五條市)

【記述の条件】

- ・ 主な見学地を訪れる順番にそって行程を設定し、枠内に記入しなさい。
なお、行程は〔○○○～○○○～○○○…〕という書き方で列記すること。
- ・ 見学地の数は自由とします。
- ・ 見学の集合・解散場所（鉄道の駅や路線バス乗り場など）を想定する必要があるが、行程の欄や本文の中にあえて入れる必要はありません。
- ・ 見学地間の移動手段は徒歩を基本としますが、路線バス・鉄道・自動車などを利用しても構いません。

